



岡山旭東病院
マスコットキャラクター
「モモコ」

健康 讚歌

by 岡山旭東病院

最新型3・0T MRIの導入で四台体制へ。 高度な画像診断で地域の先進医療を担う。

現代の医療は「高度な画像診断」なくしては成り立たない。プロフェッショナルによる、しっかりとした画像診断が医療の質を大きく左右している。なかでもMRI（磁気共鳴画像）は、頭頸部から体幹部、脊椎・脊髄、四肢関節領域とほぼ全身の断層画像をあらゆる角度から撮像できる最先端の検査機器。岡山旭東病院では、二〇〇七年に3・0T MRIを新規に導入、従来の1・5T MRI二台と合わせて三台体制で検査を実施してきたが、今回、増床・増築にともなうリニューアルを期に最新型の3・0T MRIを導入した。

「二〇一三年十一月から稼働を始めました。これまで当院では年間約二万件のMRI撮影を実施してきましたが今回、四台体制になったことで、さらに患者さまの受け入れ体制が充実しました。既存の装置に比べ、開口部の直径が七〇センチと広く明るいので患者さまには、より優しい設計になっています。精細かつ高コントラストな画像による正確な診断はもちろん、待ち時間の短縮にも貢献しています。今後は急性期病院として二四時間体制で検査を行なう準備をしており、超急性期の脳血管障害にも対応していきます」と語る放射線課の谷口敏孝主任医長。

そうしたハード面の拡充にプラスして、当院では専門スタッフの強化にも力を入れている。放射線課の診療放射線技師高尾渉氏はこう言う。「現在、二〇人の放射線技師で対応していますが、二〇一四年四月からは四人増員して、さらに検査体制の充実を図ります。当院は神経・運動器の専門的総合病院ですので、MRIをはじめ、

CT、血管撮影、放射線治療マンモグラフィなど各分野で専門性を発揮できるようスタッフにはスペシャリストとしてのスキルを高めるよう指導しています」。現在、画像検査の所見は翌日までに作成し、地域のかかりつけ医からの依頼にも対応。地域の先進医療を担う画像センターとしてさらに期待されている。



左より
放射線課 クラーク 杉本 智栄
放射線課 クラーク 前原 由加
放射線科 主任医長 谷口 敏孝
放射線課 課長 診療放射線技師 高尾 渉
放射線課 クラーク 山地 彩子
放射線課 クラーク 中尾 仁美

◆お問合せ／岡山旭東病院 ☎〇八六・二七六・三三三三
<http://www.kyokuto.or.jp>

information

花と緑のコンクール〈緑化部門団体の部〉 で最優秀賞を受賞しました！

当院は毎年、岡山市が開催する「花と緑のコンクール」へ応募しています。今年は4月に開設したサービス付き高齢者向け住宅「岡山ハッピーライフ操風」も応募し、緑化部門団体の部において、岡山旭東病院は最優秀賞、岡山ハッピーライフ操風は優秀賞と、ダブル受賞いたしました。10月26日（土）に西大寺緑化公園で開催された「岡山市緑化推進フェア2013」で執り行なわれた式典へ、当院の3人のガーデナーが出席し、表彰していただきました。これからも快適な療養環境を患者さまに提供できるよう、癒しの環境整備に努めてまいります。



最優秀賞
岡山旭東病院
屋上庭園



優秀賞

岡山ハッピーライフ操風

